「交流サロン」だより in 大仙 11月号 2024

忙しい思いにせかされたこのとしも、残り一ヶ月に迫ってきました。政権の変化や自治体の色々な動き、物価高により生活を維持することへの不安など激しく揺れ動いている現在、これからどうなる事かと考えてしまいます。そんな時、私は周りの景色を見に出かけます。季節の変化を確認するだけでも不安な気持ちを落ち着かせることが出来ます。皆さんはどんな解消方を行っていますか・・さて、私たち「大仙フレンズ」は、年末にかけてイベントがてんこ盛り状態で皆さんには難儀をかけているところです。その一つが大曲駅連絡通路での「おりがみ」などの作品の展示、今年はテーマを「花」と題し制作予定です。なんとなくですが「豪華」になりそうな予感をしています。展示期間は十二月十五日から翌一月十三日迄です。そしてもう一つは、「そば打ち」体験ですが、昨年からそば粉を挽くところが廃業したため、玄そばは有るが粉にするところがないのが現状で、この度も出来ないのかなと危惧している所です。せっかく地の物で味わってもらいたいと企画した計画ですが、時代の流れには、抗えず、今まで普通に出来たことが過去となる日が来るのでは!!

マイフォト 「晩秋の仙北路」令和６年11月26日　7:56頃

マイフォトに一言

冷え込みが強かった今朝、霜が一面に降りた田園地帯を疾走する「こまち」の姿と言っても残念ながら霜の姿が反映されなくて嘘のように感じるかもしれません、でもマイナス一℃でした。冬の使者、白鳥はとっくに来ているのですが、自然の事象がそれを裏づけはじめました。天気予報に雪マークがちらほら現れ、「鳥海山」は頭に白い帽子、いよいよ冬将軍がそこまで来ています。備えは大丈夫ですかタイヤ交換は済みましたか、と言う私は、冬囲いがまだ済んでいません・・・・

そばが麺になるまで!!

皆さんは、そばが有るなら挽けば粉になるからそれでそばを打てるでしょうと思っているのでは、実は大変なのです、殻をむき、石臼で粉にする、さらに「打ち粉」と言う麺どうしがくっつかないようにする特別な粉が必要となるのです。製粉屋さんが廃業した今これを個人で行うのは至難の業です!!そばを作っておきながら「そば打ち体験」をなぜしないのだとご不満でしょうがそんな事情が有ります。努力はしています。

12月の交流サロン
12月22日(日)
「折り紙」
午前10時～午後3時迄
2月のイベント「読み聞かせ」などの打ち合わせなどが有りますので内容は未定です。
ところ：はぴねす大仙
参加費二百円
小学生以下無料

今月の「交流サロン」から

大曲駅連絡通路の作品展示もあと二週間にせまった本日、「グループかぜ」の皆さん谷さん含め五人の方々に訪問いただき総勢十三人となり、大いに賑わいを見せたサロンとなりました。お陰様で作品の方も結構な数となり「ほっと」一安心、そんな想いでおります。大勢だと食事も美味しい!!、

《本日の昼食メニュー》

メイン：チャーシュー丼（自家製チャーシュー・カイワレ・白髪ねぎ・ちぎり海苔乗せ）サラダ：(レタス・トッピング、しらす干し・煎りごま）お新香（白菜の昆布漬け）スープ：(蕪・鶏肉、昆布出汁）ポイント：チャーシュー（豚肩ロース）、サラダ（しらすは酒を振って乾煎り）、スープ（昆布と鶏肉でじわりと出汁を取る）

展示に向けて「折り紙」制作中!!

「本日の昼食」いかがですか!!

東日本大震災による避難者を
支援する秋田県南連絡協議会
発　行　「大仙フレンズ」　担当　高橋　和美
連絡先　〇九〇－九六七〇－二八五二